平成 27 年 1 月 26 日

保護者の皆さま

利府町立しらかし台小学校
校　長　　志 賀　忠 彦

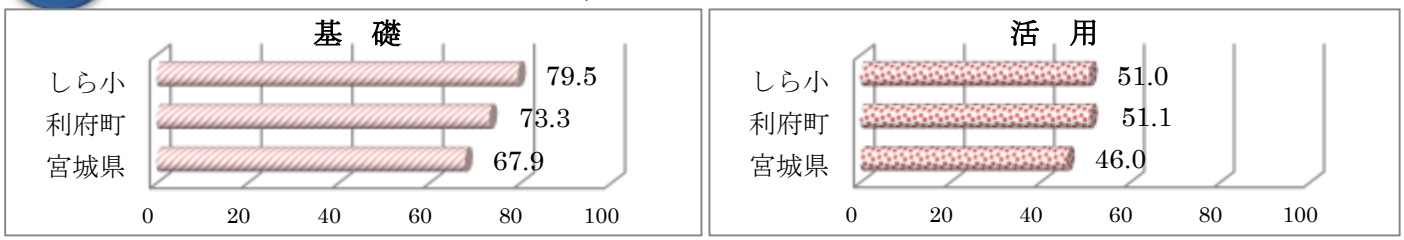
宮城県学力・学習状況調査におけるしらかし台小学校の結果

昨年の 10 月 28 日に，宮城県内の公立小学校に通う 5 年生を対象に，「学力・学習状況調査」が行われ，その結果が 12 月に届きました。これに基づいて，この度，本校の児童の学習や生活の状況について，よさや課題をまとめましたので，お知らせいたします。

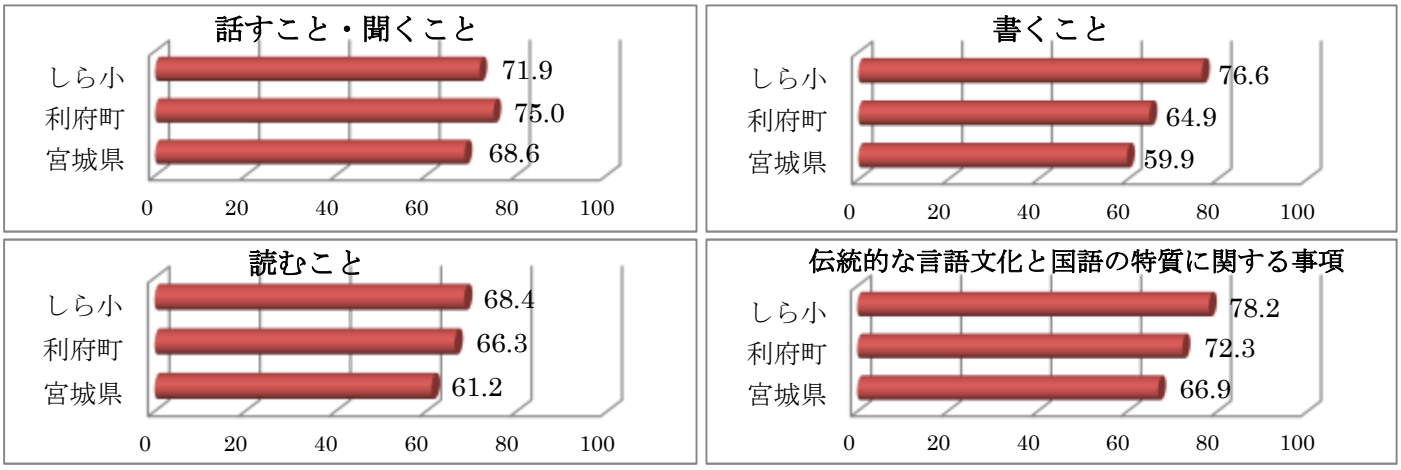
Ⅰ　学力調査の結果

国語

平均正答率の比較　＜グラフの横軸は平均正答率を表しています＞
基礎:主として知識に関する問題，と活用：主として思考・判断力と表現力に関する問題



領域別正答率



・正答率は，「基礎」では，宮城県平均（+11. 6），利府町平均（+6. 2）より高い値となっています。「活用」では，宮城県平均（+5），また，利府町平均とは同等の値となっています。
・領域別正答率を見るとすべての項目で宮城県平均を上回っています。特に，「書くこと」（+17. 7），「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」（+11. 3）が大きく上回っています。

・設問別正答率を見ると，漢字の読み書きや文の構成（修飾語）についての正答率が高く，概ね良好であると言えます。しかし，目的に応じて内容をまとめながら読み取る問題や話合いの進め方と関連させた問題では，正答率が低くなりました。また，文と文の意味のつながりを考えながら，接続詞を使って内容を分けて書く問題では，回答に複数の条件が付加されると，問題に手を付けることができなかったり，求められた条件を満たすように書くことができなかったりすることが多く見られました。

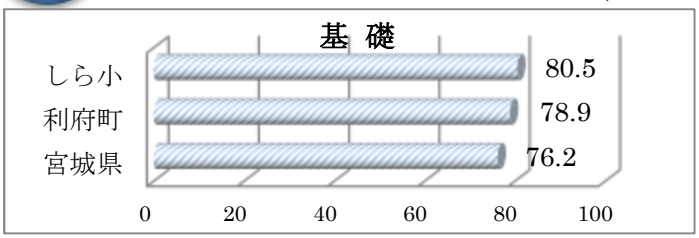
国語の学ぶ力を高めるために以下のことに重点を置いて取り組みます。

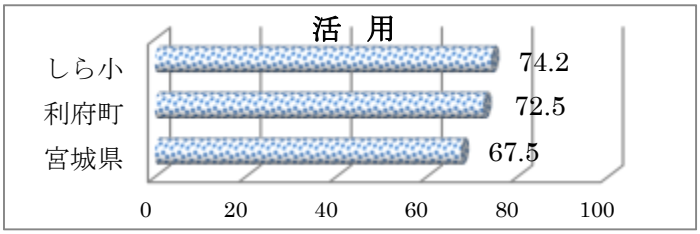
・多様な文章に触れ表現の工夫を捉えたり，簡潔にまとめたりする学習活動を増やします。
・示された条件に合う文章を書く学習や事実と意見を関連付けて書く学習を行います。
・要旨や理由をまとめ，記述する学習活動を増やします。
・構造的に複雑な文章からの読み取りやその理由について記述する学習活動を増やします。

算数

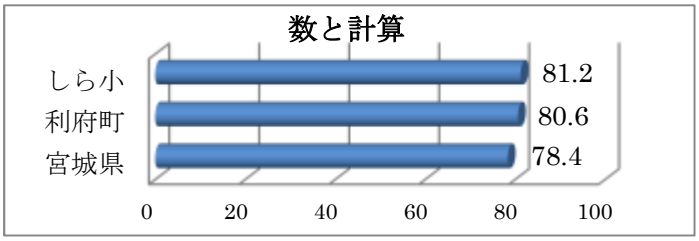
平均正答率の比較　＜グラフの横軸は平均正答率を表しています＞

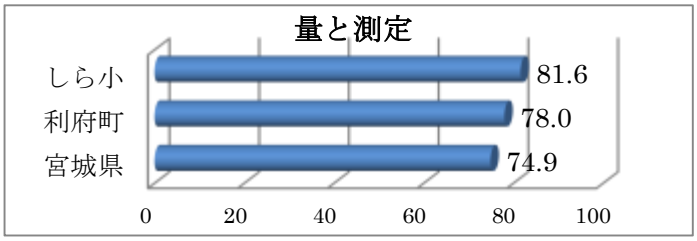
基礎:主として知識に関する問題，と活用：主として思考・判断力と表現力に関する問題

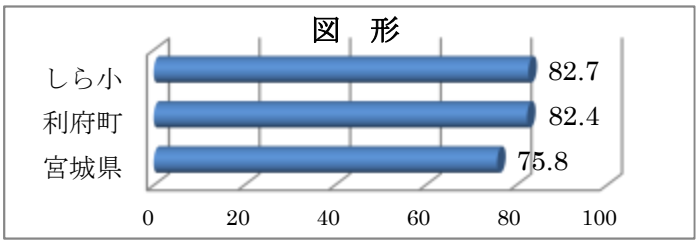


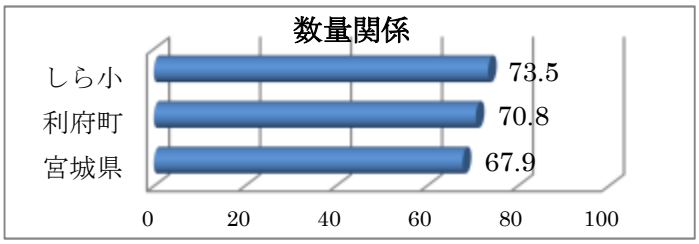


領域別正答率

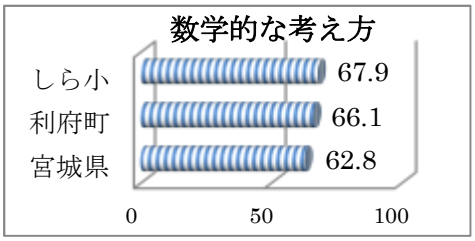


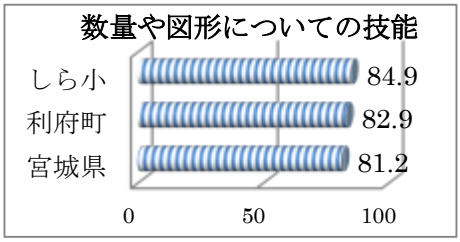


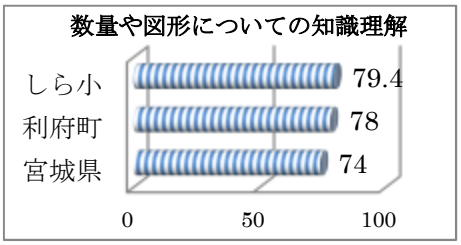




算数の観点別正答率







・正答率は，「基礎」では，宮城県平均(＋4.3)，利府町平均(＋1.6)より高い値となっています。「活用」では，宮城県平均(＋6.7)，　利府町平均(＋6.2)より高い値となっています。

・領域別正答率を見るとすべての項目で宮城県平均を上回っています。特に，「量と測定」(＋6.7)，「図形」(＋6.9)，「数量関係」(＋5.6)が大きく上回っています。

・観点別正答率を見るとすべての項目で宮城県平均を上回っています。特に，「数学的な考え方」(＋5.1)，「知識・理解」(＋5.4)が大きく上回っています。

・設問別に正答率を見ると，計算問題や公式に当てはめて回答する問題，分度器等を正しく使い測定する問題についての正答率が高く，概ね良好であると言えます。しかし，「グラフと表の関係の読み取り」や「小数倍の時の基準量を求める」問題では正答率を下げています。また，示された情報を基に条件に合う回答をする問題では宮城県の平均正答率を下回りました。

算数の学ぶ力を高めるために以下のことに重点を置いて取り組みます。

・算数的活動を重視し，算数用語を正しく理解し，正しく使えるようにするための学習活動を増やします。

・問題の条件が複雑になっても，絵図や式で問題把握を行い，内容を整理し，筋道を立てて考える学習活動を増やします。

・今までに習ったことを使って問題解決を図る学習活動を系統的，継続的に行います。
・複数の条件から問題を解くのに必要なものを選び，それをもとにして解決に導いたり，また，その理由を簡潔に記述したりする学習活動を増やします。

Ⅱ　学習状況調査(生活習慣や学習に関する意識調査)の結果

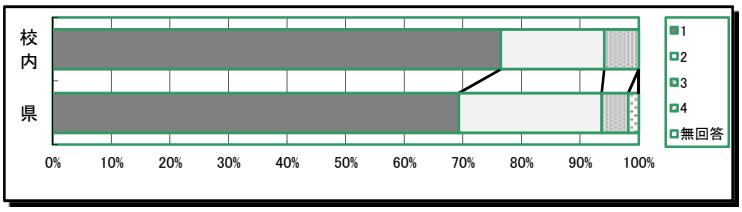
全 64 項目の質問による調査内容から，傾向が顕著なものを選択して提示します。

よい点

(1) よい傾向が見られる領域と考察

ものごとを最後までやりとげてうれしかったことがありますか

	1 ある	2 どちらかといえばある	3 どちらかといえばない	4 ない	5 無解答
校内	76.5	17.6	5.9	0.0	0.0
県	69.3	24.4	4.5	1.8	0.0

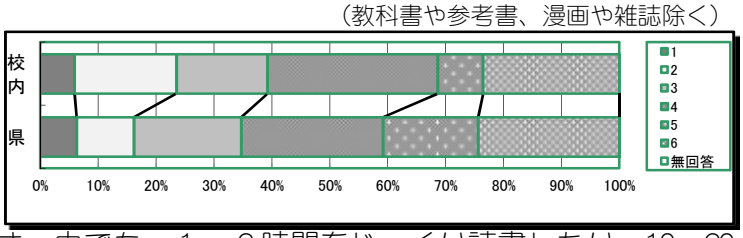


「ものごとを最後までやりとげてうれしかったことがありますか」という問いに対してはっきり「ある」と答えられた割合は 76.5%と，県平均を大きく上回っています。達成による成就感を得ることは自分への自信につながります。この自信を積み重ねることや確かな自己肯定感をもつことで，生き生きと活動する力が増していきます。

学校の授業時間以外に，平日に，１日当たりどれくらいの時間，読書をしますか。

（教科書や参考書、漫画や雑誌除く）

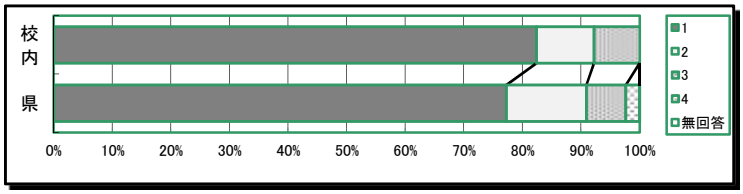
	1 2 時間以上	2 1 時間～2 時間	3 20 分～1 時間	4 10 分～20 分	5 10 分以下	6 しない
校内	5.9	17.6	15.7	29.4	7.8	23.5
県	6.3	9.9	18.6	24.5	16.5	24.4



平日の読書時間は県平均を上回っています。中でも，１～２時間をじっくり読書したり，10～20 分の短時間集中して読書する割合は県を大きく上回る結果となっています。読書は国語力の向上ばかりではなく，想像力を伸ばし，語彙力を向上させることにも効果があります。活字に親しむ時間をぜひ確保したいものです。

家で，学校の宿題をしていますか。

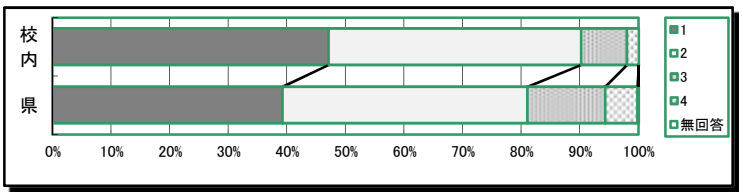
	1 している	2 どちらかといえばしている	3 あまりしていない	4 まったくしていない	5 無解答
校内	82.4	9.8	7.8	0.0	0.0
県	77.3	13.7	6.7	2.3	0.1



「家で，学校の宿題をしていますか」という問いに対して，「している」，「どちらかといえばしている」と回答した子どもの割合は 92%を超えています。その中でも，「している」と答えている割合は 82.4%に達し，県平均を上回っています。本校の子どもたちが，学習の補充，振り返りとしての宿題に真面目に取り組んでいることがうかがえます。学校での学習と宿題や自主学習等の家庭学習を組み合わせることによって，学力の保持・向上につなげることができると考えます。

先生は，あなたの良いところを認めてくれていると思いますか。

	1 そう思う	2 どちらかといえばそう思う	3 どちらかといえば思わない	4 そう思わない	5 無解答
校内	47.1	43.1	7.8	2.0	0.0
県	39.2	41.8	13.3	5.5	0.2



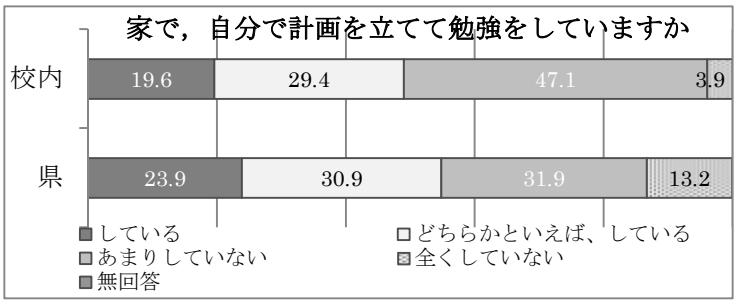
「先生は，あなたの良いところを認めてくれていると思いますか」という問いに対して，「そう思う」，「どちらかといえばそう思う」と回答した子どもの割合は９割に達します。そう思わないと答え

た子どもは県平均を下回り，学校生活において，日々子どもに対して励まし，認め，共に活動に取り組んできたことが成果として表れています。

課 題

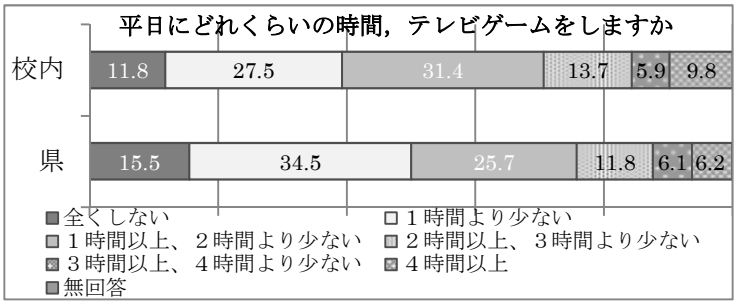
(2) 望ましくない傾向が見られる領域と考察

家庭学習について



「家で，自分で計画を立てて勉強をしていますか。学校の授業の予習をしていますか。復習をしていますか。」という問いに対して，「している」と回答した割合は県平均よりも低くなっています。特に，計画を立てて学習するかという問いに対して，逆に「あまりしていない」と答える子どもたちが多くいました。自主的に家庭学習に取り組むことができないでいる子どもの多いことがうかがえます。「家庭学習のしおりや手引き」などを活用しながら，自分なりの家庭学習の仕方を身に付けることができるように，学校と家庭の両方から励まし，支えていくことが必要です。

メディアの使用や付き合い方について



「平日に，１日当たりどれくらいの時間，テレビやビデオ・DVD を見たり，聞いたりするか，そして，テレビゲームをするか」という問いに対して，「１時間以下」「２時間以下」と回答した子どもの割合は，宮城県の平均を大きく下回りました。さらに，テレビの視聴時間やゲームで遊ぶ時間は３時間，４時間以上と長時間化する傾向にあります。このデータにより，県平均よりも長い時間テレビゲームをしている子どもの割合が多いことが分かりました。帰宅後の過ごし方やテレビやゲーム機の使い方について，学校でも指導していきます。ご家庭でも，もう一度話し合ってみてはいかがでしょうか。

Ⅲ　しらかし台小学校の学力向上への取組の紹介

本校では，上記の結果を踏まえ，以下に重点を置き，学力向上に向けて全校で取り組んでいます。

分かる授業を目指して，日常の授業の改善に努めます。

- ○ 言語活動，算数的活動*を取り入れ，子どもが主体的に取り組む授業を行います。
- ○ 自分の言葉で考え，根拠を明確にして発表したり，書いたりする表現活動を取り入れます。また，互いに学び合う活動を取り入れた授業を行います。

基礎・基本を確かに定着させ，応用力を高める学習の工夫を行います。

- ○ 算数用語，文法用語等を正しく理解し，正しく使うことができる指導を行います。
- ○ 辞書で調べる活動や読書活動を増やし，語彙力を向上させる指導を行います。
- ○ 大事なことは繰り返し復習する系統的，継続的な学習方法を取り入れて授業を行います。
- ○ 知識を活用する問題に取り組む活動を増やし，応用力を向上させる指導を行います。

学習の規律・リズムを整え，集中して学習に取り組める工夫を行います。

- ○ しら小スタンダード(学習の約束)を基に，学習の準備，発表の仕方等学習規律を整えます。
- ○ 集中して課題・問題に取り組み，最後までやり抜こうとする気力を伸ばします。

家庭との連携を通して，よりよい家庭学習の仕方を身に付けます。

- ○ 「家庭学習のしおり」，「家庭学習の手引き」を基に，計画的に家庭学習に取り組めるよう励まし，支援していきます。
- ○ 新聞や本を読むこと，日記を書くことを奨励し，家庭での取組を支援していきます。

*算数的活動とは，子どもが目的意識をもって主体的に取り組む算数に関わりのある様々な活動を意味しています。
（文科省 WebSite より引用）